

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012年11月28日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) エヒメサンギョウシンコウザイダン</p> <p>公益財団法人 えひめ産業振興財団</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 公益財団法人 えひめ産業振興財団</p> <p>所在地： 〒791-1101 愛媛県松山市久米窪田町 337-1 (テクノプラザ愛媛内)</p> <p>部署名： 新事業支援課</p> <p>役職名： 先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャー</p> <p>氏 名： 細 谷 静</p> <p>TEL： 089-960-1265 FAX： 089-960-1105</p> <p>E-Mail： hosoya@ehime-iinet.or.jp</p>
ホームページ	<p>http://www.ehime-iinet.or.jp//</p>
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>地域産業の高度化及び新事業創出の支援を行うとともに、県内中小企業等の情報化、経営基盤の強化、経営革新、設備の導入等を促進し、もって本県経済の発展に資する。 事業内容は創業・起業支援、新事業展開、経営支援、情報化支援、研究開発支援など</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1st.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

平成 24 年 7 月 24 日（火）えひめバイオマスリファイナリーフォーラムの会場における電力使用と来場者の交通利用に伴う CO2 排出のオフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

対象：平成 24 年 7 月 24 日（火）えひめバイオマスリファイナリーフォーラム

バウンダリ：会場における電力使用
来場者の交通利用

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

2012 年 7 月 24 日

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

■EC02 四国ウェブページ オフセット事例紹介

<http://www.eco2-shikoku.org/offset/index.html>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 算定方法

会場の電力使用：＜電力使用量＞×＜排出係数（kg-CO₂/kWh）＞
来場者の交通利用（自動車）：＜距離＞÷＜燃費＞×＜人数＞×＜排出係数（kg-CO₂/L）＞
来場者の交通利用（電車）：＜距離＞×＜人数＞×＜排出係数（kg-CO₂/人 km）＞

①-2 計算詳細

項目	活動量		排出係数	CO ₂ 排出量		
会場の電力使用	66.82kWh		0.326kg-CO ₂ /kWh	21.78kg-CO ₂		
来場者の交通利用	電車	53.5km	60人	0.0156kg-CO ₂ /人 km	50.23kg-CO ₂	
の交通利用	自動車	53.5km	6.57km/L	50人	2.32kg-CO ₂ /L	944.60kg-CO ₂
利用	自動車	195km	6.57km/L	40人	2.32kg-CO ₂ /L	2,754.34kg-CO ₂
合計					3,770.95kg-CO ₂	
オフセット量					4t-CO ₂	

①-3 排出量の算定に利用したデータ種類 電力使用量、燃費、距離、参加者人数

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組ををつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO₂ 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他 （一般市民の方に環境教育及び環境活動啓発の場を提供）

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

国内クレジット 100%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

コットン製品製造工場における排熱回収設備の導入（熱交換器） 00999-1~00999-4

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

クレジット償却日：2012年7月30日

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ① CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。

過去 10 回以上の様々な環境をテーマにしたセミナーを開催、及びセミナーのご案内を提供し環境教育を推進しています。

- ② CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

事前に説明を行い、理解と協力をもとめました。

2. カーボン・オフセットの内容

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について

えひめバイオマスリファイナリーフォーラムは環境にやさしいバイオマスをテーマにしたセミナーであります。環境の普及啓発を目的としているため、セミナー実施により排出にってしまう CO2 に対しても問題意識をしっかりと持ち、その対策を講じ発信することにより環境活動の普及啓発に貢献しています。

- ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについて

今後もセミナーのカーボン・オフセットの取組を継続し、環境に関する情報発信をしていきます。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第 1 次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献

カーボン・オフセットのクレジットにセミナー開催地域の国内クレジットを使用しているため、地域の経済活性化及び環境活動に貢献しています。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。

カーボンフリーコンサルティング株式会社から発行されたカーボン・オフセット証明書をセミナー時に掲示しカーボン・オフセットの取組みをPRしました。

- ② 人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

カーボン・オフセットの取組みに興味を持つ参加者が質問にきました。

5. ストーリー性

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。

環境に関心があってもカーボン・オフセットを認知していない方は多くいます。そのような方々はカーボン・オフセットを認知・理解向上させる機会を提供できたことが本取組の魅力です。

- ② こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

カーボンフリーコンサルティング株式会社から発行されたカーボン・オフセット証明書をセミナー時に掲示しカーボン・オフセットの取組みをPRしました。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp